



# 地方交附金制度

## 設定實現の陳情

### 郡下町村長が連署して

石城町村長支會では地方財政調整交附金制度設定に關し今回左記陳情書を作製し各町村長連署を以つて昨廿八日首相を始め内務、農林、陸軍の各大臣宛に發送した地方財政の緩和を圖り國民負擔の均衡を期するの主旨に依り内務當局の立案に係る地方財政調整交附金制度は現時の國情に於て最も機宜を得たるの施設たるを信し其の實現方に關し從來全國町村長會より屢陳情を悉くし居候次第の處未だ容易に解決の曙光を認むる能はざる趣意に遺憾に堪えざる

所に有之候吾々は一面農村租稅徵收の實務に服して痛く其の重壓を直感し他面農村經營の當務者として具さに農家窮困の慘苦を直視するもの此の儘にして推移するに忍びず

敢へて衷情を披瀝して右制度の實現を熱望す冀くは特に御英斷を贈はり明年度より是非實現の上國民負擔の均衡を期し候様致度此段及陳情候也

り縣所有地五ヶ年借用願の陳情書が平土木監督所に提出された  
蒔蒔出荷良好 石城郡植田町唯一の物産である蒔蒔は昨今漸く出廻り初めであるが晴天つゞきの爲蒔蒔の結果よく續々と出荷されてゐる

釜戸村道陳情 渡邊村釜戸川附近の村道は本年度匡救事業に編入されなかつたので明年度の匡救事業編入方に關し村長永山定季氏より本日本土木監督所に陳情書を出して來た

### 役立たぬ起重機船

#### 大修繕は加へたが

使用出来るかどうか問題

四倉町の漁港修築用起重機船は既報の如く工費二万五百圓を投じて建造したにも拘らず五ヶ月を経た今日に至るも使用に堪へざる爲非難の聲高まり縣會の問題にもならんとする模様なので此程縣では同船に對して大修繕を加へ廿四日より試運転を行つてゐるが果して役に立つかが問題となつてゐる

### 植田農産

#### 入賞氏名

既報植田・山田、錦一町二ヶ村聯合農産品評會は去る廿六日より植田校に開催昨廿七日郡農會柴田技手が審査の結果入賞者左の如くである

- (一等) 植田柳田清 鈴木平次 吉田爲正 嵐正三

錦小野長三 荒藤吉 小宅時代 山田永山直教 (二等) 植田鈴木平次 高木留吉 鈴木英次郎 吉田淺次郎 錦助川熊太郎 澁川市之助 赤津彦夫 小宅勇治 正木定巧外八名(三等) 植田佐藤鐵太郎 外四十四名(四等) 山田鈴木忠夫外七十五名

廣畑道路着工 石城郡下小川村字御堂内上の臺廣畑地内道路改修工事は工費二千九百圓で来る二十八日より着工明年一月一杯に竣成する  
古河平署剣道 好間村古河炭礦劍道部對平署員の劍道試合は來月十日古河道場に於いて行はれると  
平町人事 回出生 女艶子



### 巷の話題

男ごころは 斯うしたのか「何にしても捨さんは村一番のモボだよ、粹で活潑だよ」とほめられたのですつかり嬉しくなつた新潟縣刈羽郡刈羽村の笹原捨二郎(ニ)くん愈々自信がついたと新潟市に乗り込みモボ振りを發揮しやうと遊廓や島の小料理屋で大いに遊んだが持てるのは大學生か

### 上陸水夫の

#### 散宿所を設置

##### 小名濱漁業組合の計劃

小名濱漁業組合では上陸する各地水夫の散宿所を設置すべく協議の結果工費千六百九十圓を以つて同町榮町

一番地の縣所有地百坪を借り受け二階建のモダンな宿舎を建築する事に決定此程漁業組合長小野政次郎氏よ

り、そこで制服制帽を新調し僑大學生になりすまし得意がつてゐたはよかつたがド、小さな盗みをしたので所轄署で取調べられてゐる

そいと言つては殴り止むなく外泊したと言つては嫉妬のはほを燃やすので、どうしたら此の心が通ずるかとその夜さんく夫婦睦睦を上げた揚げ句さア仲直りしましやうと仲よく兩名とも青酸加里をのんで心中を遂げた

女ごころは 女ごころはそうじゃない、一旦思ふた殿御ならと唄にもあるのに、家のミノはんたら大阪

恥かし心は「俺アまだ二十代ちうのに、この若ハゲがこッぱづかしくて仕方がねえだよ」と茨城縣多賀郡關本村金澤秋男(ニ)は

市西區本町町森川さんとえ(ニ)さんは某カフェエーの女給をしてゐる中懇ろになり同棲までしてゐるコックの北島實が夜の歸りが少し

だ二十代ちうのに、この若ハゲがこッぱづかしくて仕方がねえだよ」と茨城縣多賀郡關本村金澤秋男(ニ)は

外出先から歸つて來た所折柄來客があるので人前に出るのが恥かしくなり、戸外で客の歸りを待機して居たが、一向歸る氣配もないのにじれ出し火事でも起きたら飛び出すだらうと淺墓にも近所の藁乳に放火、來客追つ拂ひ策に成功したが一回ではバレルだらうと又も放火、こんどは火事が面白くなつて三度放火、どこか焼き直す家がないものかと物色中を捕まつた

本當の心は「内證、ないし唯知るものかえ」と長野縣茂里村川口つね婆さんは芋井村の宮澤としさんが長い事行方不明になつてる長男健一クンの事を一心に探してゐると聞き込み「わたし天狗様だからさつと見つけて上げる」とて同家に二ヶ月も滞在し、どうやら見當がついたからとて旅費十五圓をせしめてお山の彼方へドロン、このお婆さん到着所で天狗さんの騙りをしてゐた事判り皆が呆れてゐる



天屋洋品店 平町田町通電話五六六番

江戸前 料理 合巻

近日煮込みおでん 始めます

御祝儀 仕出し 法事

錦

水

平・電四五四番

# 惡祈禱者に

## 散々な目に遇ふ

### 湯本町の美妓巴の一家

#### ▽堪り兼ねて平署へ

湯本町字三箇居住大工職卯之助長女大泉キチノ(二〇)は同町藝妓屋新龜より巴と名乗つて左棲をとり同地の一流藝妓として嬌名高く小名濱疑獄の

張本人 樽木前築港事務所長と浮名を流した事あり當時は事件の参考人として再三其筋の嚴重な取調べを受けたが其後此の事を苦に惱んでか不治の病に冒され藝妓を自廢して親元に立

病死して終つたが祈禱者渡邊は同家方に出入する内母親キク(五)と懇ろになり此程兩名手を取り合つて何處へか行衛を晦したの

歸り迷信から醫藥に親まず専ら小名濱町西町祈禱者渡邊三郎(五)に譯の解らぬ祈禱を受けて居た爲め益々病勢募り本年八月末遂に

氏等が夫々出發する尙同日午後三時十七分下り平着列車で仙臺歩兵四聯隊より研町金成龜太郎、四丁目松崎喜一の兩氏が除隊歸郷する

# 警城駒の名聲揚る

## 本縣共進會に入賞して

# 稀代の詐欺漢

## ニセ辯護士の公判期日決定

既報相馬郡石神村大字南三一生れ目下住居不定無職前科十一犯自稱法學士辯護士藤田清吉(四)が平町五丁目

より香西判事係り清田檢事立會の下に開廷すると

# 公傷組員

## 内相より金一封を

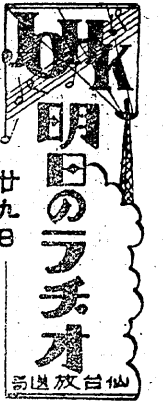
# 軍人送迎

## 非常時氣分の平驛賑ふ

平町長橋町小野正二氏は朝鮮咸興七十四聯隊入營の爲め廿九日平驛發上り九時一分列車にて、翌卅日には仙臺輜重二大隊入營の三丁目岡時保氏及び宇都宮輜重十四大隊入營の研町關傳介

本年四月十九日平署管内聯合消防檢閲の際誤つてトラックで傷を負つた箕輪消防組員新妻重春氏は其後平署より公傷として大日本消防協會へ上申中であつたが去

本年四月十九日平署管内聯合消防檢閲の際誤つてトラックで傷を負つた箕輪消防組員新妻重春氏は其後平署より公傷として大日本消防協會へ上申中であつたが去



今夜も明日北西の風天氣良し

# 今晚の部

後六、〇〇 子供の時間 宗教童話「親鸞さま」勸業 津 後六、二五 基礎佛語講座 (二十一) 目黒三郎 後七、三〇 講演「誤られたる癡病の諸迷信」醫學博士 笠原登

# 明日の部

後八、〇〇 ラヂオドラマ ヤッパ 島物語友田泰助 外大勢 後八、四〇 義大夫「双蝶」曲輪日記引窓の段」竹本相生 大夫秋の言葉 後九、〇〇 俚諺「追分節競演會」(第三回)芳賀春

# 高工生の屍体發見

## 江網海岸で

# 遊興税の協定至難

## 平稅務署では郡下に割當てられた本年度遊興税について各町村の二業組合や西洋料理組合等と協定中であるが平町二業組合では前年より一割以上の引下を要求してゐる爲め行儀みとなつてゐる

# 湯本愛婦多數獲得

湯本町の愛國婦人會員は石川町長夫人外幹部總動員で募集に奔走の結果其數合計二百八十九名となつた由

# 母娘共に中毒苦悶

## 婦人の妙藥としてキチガイ茄子を服用

調査中である

平町堂の前古物商千代幸三郎さんの娘とし(七)は昨日お針の師匠研町炭職員吉田徳三郎氏妻トヨ(四)さんから血の道の妙藥だとしてキチガイ茄子を貰ひ受け歸宅して午後六時頃母ナホ(八)さんと共に相次いで服用した處數時間の後に至り急に胸迫つて兩名共苦悶し始めたが同家には父親幸三郎さんが商用で旅行不在中の爲め弟定雄(一)君が辛ふじて介抱し母親は今朝に至り漸く落付いたが娘は全くの發狂状態に陥つた由、尙前記お針の師匠方のお弟子さん達は何れも右のキチガイ茄子を貰つて行つたので服用する惶れあり平署では目下

好間の鐵骨櫓 石城郡好間村では同村消防組頭叶田清氏から鐵骨火之見櫓建設費として七百五十圓の寄附があつたので近くその建設にかゝる筈

# 道路損傷負擔に自動車業が反對

## 平協會支部から出縣して猛運動

平自動車協會支部では今回縣會提案に係る營業自動車に對する道路損傷負擔金案が可決されると從來の自動車一臺に付從來徴收されて居た本稅としての年額三

十圓市町村附加稅廿圓以外に新たに道路損傷負擔金として一臺に付廿圓、夫れに附加稅廿圓、計四十圓の大増稅が行はれる結果となり自動車三百臺に依つて縣

# 田人銃器購入

組合村青年訓練所にて銃器購入の爲め廿八日より三日間全村三ヶ所に軍事映畫會を催すと

# 時局の講演會

明日午後六時半より世界館に於て廣田重太氏の五・一五事件を中心とした時局講演會がある

# 銘劍秘刃録

【禁無斷轉載上演映畫】

寶井馬琴 演  
山本英春 畫

第一〇〇回 徳川家に崇る村正

お大の方の深慮

大「此處より岡崎へ引返し  
て呉れ」と云ふは外ではあ  
りませぬ、恥かしながら我  
見下野守と云ふ人は汝等も  
知る通り、殊の外短氣者  
縁の切れたる徳川水野、最  
早や敵視して居りませう、  
されば岡崎より送りの人々  
を荊谷まで連れて參れば必  
ず兄下野守が汝等を塵に致  
すなど立騒ぐは知れた事妻  
ゆえに修羅闘争を演ずるは  
誠に不本意の至り、依つ  
て此處より岡崎に立歸つて  
呉れば誠に無事でありま  
しやう、今惣じ荊谷にて岡  
崎方を傷付け或は殺しなど  
する時は、竹千代殿成長の  
後下野守は現在の伯父、其  
伯父甥の間柄なれば、纏て  
和談の整ふ事もありませう  
が、然るに幼年の時に數  
多の家來をば水野の爲めに  
故なくして殺されしと三ッ  
子の魂、百までとやら竹千  
代殿御記憶あれば終には恨  
みが生涯お残り申すべく妾  
は縁切り何の様に成り行  
くとも厭はねども竹千代殿  
御成長の程を思ひやられ、  
又實家水野にせめてはお恨  
みを受けざる様にと深く考  
へがありまする女子の痴

か知らねども先づ其  
方等は是より本國へ立歸る  
が何より無事と存する、妾  
を捨て、どうぞ何にも云は  
ず歸つて給はれ」  
と、強て岡崎よりの送り  
の者を歸さんと云ふお大の



方が此の後に及んで心動せ  
ぬ舉動流石家康公の御母公  
だけあつて實に女丈夫とも  
謂ひつべきでございます、  
お大の方が事を分けての言  
葉に金田惣八、阿部四郎兵  
衛も「誠に道理千萬の事  
御思慮のほど恐れ入つて

ございますでございますしやう  
が、何と致しても程遠から  
ぬ小川領と申せども、人家  
がはなれて居りまして、四  
邊はいふせき農家のみ、高  
貴の御女性お一人を只此處  
にお置き參らせるは甚だ不  
安心、如何致したものであ  
るか」  
兩氏は後の事を打案じる  
お大の方は頻りにせき立て  
られまして  
大「イヤ此處は小川領と申  
せども、荊谷の方へ餘程近  
うあります故、その間は誰  
でも送らんで、荊谷へ參る  
でありますやう、其やうな

事は心配なく、どうぞ早く  
影を隠して貰ひたく斯うい  
ふ内も心許なく存じます」  
と強ての仰でありますか  
ら、仕方なく、全田、阿  
部の兩名が先方を見ると、  
百姓屋が五六軒並んで居り  
ますから、庭へ參つて

惣「コレ、百姓、其方共  
に少しく頼みたいものがあ  
ると云ふは外ではないが荊  
谷の水野家より致して御縁  
組になつた岡崎の奥様が今  
日御離縁に相成つて荊谷へ  
お歸りになるに就き、是ま  
で我々お送り申して參つた  
が、仔細あつて此處に於い  
てお暇を賜はり奥様が一人  
で荊谷へ歸ると仰られ今御  
輿の中にお在で遊ばすが我  
々岡崎へ歸つた後は、定め  
てお心許ない事と存するか  
ら、其の方共是より彼の御  
輿を擔ぎ、荊谷城までお送  
り届け申上げて呉れ、手當  
は何程でも差出すから領主  
へ奉公と心得、農業を相休  
んでどうぞ彼の御輿を」  
と云はれて一同の百姓の  
者が

○「我等は何も譯は存じま  
せんが成程岡崎殿の奥様が  
荊谷へ御離縁になるので貴  
方が岡崎へ歸れば奥様一人  
お心許ない故お輿へ乗せた  
儘荊谷城へ送つて呉れとの  
仰せ、承知致しました、お  
武家様の方には又意味合が  
ありませうから宜しうござ  
います、我々共でお送り申  
すと致しましてやう、コレ今  
聞く通りの譯だ皆んなして  
奥様を荊谷へお連れ申さう  
ではないか」  
△「さうだ此方等は何方へ  
付くと云ふわけでなく、其  
の日其の日の風任せ、吹け  
ば飛ぶやうな百姓輩御領主  
様の御蔭で斯うやつてくら  
して居る御恩返し、殊に一  
人ぼつちになつた奥様と云  
へばお悼ましい事であるか

ら、早く荊谷へお届け申し  
上げやうではないか」  
と既に十四、五人の農民  
がガヤ／＼致して御輿のあ  
る所へ參りますと  
大「農民共、道の案内は妾  
がよう知つて居るから、ど  
うか荊谷へ連れて行つて給  
も」と云ふ優しき仰せ農民  
共は土下座を致して  
○「へー、是は勿体ない  
仰せ、世が世であるなれば  
お籠越しでもお顔も見上げ  
る事も出来ませぬ尊い御方  
が、此の松並木で私共へお  
言葉を下さると云ふは冥加  
至極の事でございますお送  
り申さんで何と致しませう  
サアどうぞお心静かににお出  
下さい」

## 新流行シヨール

今冬の流行を代表

する斬新な柄……

### ツルヤ

平四・電話一四〇番

耳鼻咽喉科専門  
大和田醫院

平町南七

# かまぼこ製造

# お精進

平町一丁目

お惣菜用  
さつま揚  
吉原揚  
**天孫寛**  
電話一四一番

喜多流謠曲と仕舞の  
お稽古をお勧め致します

平田町六九

喜多流 謠曲 仕舞  
**白土會**

◇詳細は本會へ御問合せ下さい。

# 毛糸

今年度新色全部入荷致しました。  
相變らず御引立の程を。

(色見本帳進呈)

合名 會社 **ハシモトヤ糸店**

平田町 電話十四番

# 吉田眼科病院

平紺屋町 電話六八番

眼科専門

院長 吉田 安雄  
醫學士 吉田 久雄